



高見隼斗 (中山小学校6年)

よりよい
大山町に
するために

ぼくが大山町長になったら、豊かな心を持つ子どもを育てる大山町にします。現在の大山町では、テレビやゲーム、インターネットなどのメディアへの過度な接触をしている子どもが増えているからです。

子どもたちには、将来のためにも、思いやりの心などを持ってほしいです。地域や学校などで、高齢者や乳幼児と触れあったり、ボランティアなどのいろいろな活動に取り組んだりするとよいと思います。そうすることで子ども豊かな心を育てられると思います。



荒松千華 (名和小学校6年)

私が町長に
なったら

私が町長になったら、地域の人のふれあいがいっぱいある町にしたいです。

そのために考えたプランは、土、日、祝日に幅広い世代が楽しめるイベントを開催することです。世代ごとに楽しいと思うことは違います。だからそれぞれの世代でやりたいことを変え、毎週リ

ダーを変えてやることによって、主体性、継続性、ふれあいが生まれます。誰かにやってもらうだけではなく「自分もやりたい」とみんなが思ってくれるようなイベントが開催される町になってほしいと思っています。



花宮幸斗 (大山小学校6年)

みんなが
住みやすい
まちづくり

ぼくがもし町長になったら、大山の自然を生かした住みやすい町にしたいです。なぜかという、大山には自然がいっぱいだし、そこに住めるなんて夢のようだと思うからです。それに、大山にはおいしい食べ物がいっぱいあるので、それらを生かせば、遠いところからでも大山に住み

たいという人や実際に引っ越してくる人もあると思います。しかし、その自然をこわそうとする人もいるので、ごみは捨てるべき場所にちゃんと捨てるなどして、自然を大切にしたいと思っています。町のみんなで1か月に1、2回掃除をするのもいいと思います。



齋木星那 (大山西小学校6年)

自然を活かした
やさしい
町づくり

大山は、春夏秋冬、どの季節でも楽しむことができます。

登山や紅葉をみる、スキーなど、多くの人に大山の自然に触れてもらいたいです。そのためには、さらにバリアフリー化を進めるなど、環境を整え、訪れた人の目的がかなえられる町にしなければいけないと思います。

また、「むきばんだ」に続く、インパクトの強い、有名になりそうな新キャラクターを作りたいです。より多くの人に大山町の魅力を発信して、みんなが喜ぶやさしい町をつくり、大山町をよくしていきたいです。

あとがき

今年も恒例の成人式が挙行され、多くの新成人の出席があった。今号の小学生の投稿を読んで、町の将来について皆さんがしっかりと考えた考えを持っていることがわかった。かれらが今後多くの研鑽を積んで、町づくりをしてくれたら、きっと未来は明るいことだろう。

議会だよりも五十一号となった。皆さんに早く届くよう願っているが、昨年より文書配布日が減ったり、印刷の関係で二週間以上遅くなり残念です。マスコミや新聞で、誤解を与える文言が時々ある。委員全員で公正な誌面をめざして頑張っています。本年もよろしくお願ひします。(野口俊)

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】
委員長 大原 広巳

副委員長 森本 貴之

委員 野口 俊明

委員 吉原美智恵

委員 近藤 大介

委員 米本 隆記

委員 門脇 輝明

委員 杉谷 洋一

